



夏季進路研修会



7月25日(木)に教員向け進路研修会を行いました。今年度は、リベラル株式会社と都立港特別支援学校から講師を招き、前半は都立港特別支援学校より『高等部の生活』『高等部卒業後の進路について』『進路決定までの流れ』について、リベラル株式会社より『企業が考える障害者の就労』についてのお話をいただきました。

講演では、高等部のクラス編成や授業、進路決定までの流れ、進路(生活介護、就労継続支援A型B型、就労移行支援等)による違い、就労にあたって身に付けておいてほしい力についてのお話があり、作業学習などの授業を通じて働く姿勢・態度を育むことが今後の進路につながるというお話もいただきました。



後半は各グループに分かれてテーマに合わせたグループワークを行いました。

『食事(偏食)・着替え、身だしなみに関する将来への課題』

- ・苦手な食事でも口に付けてみて感触や匂い、味を感じることからやってみる
- ・着替えや食事は小・中学部での積み重ねが将来につながっている

『集団を意識して生活するために必要なことについて』

- ・衛生面での問題は少しずつ減らしていくこと、生徒の行動に対するバックボーンには何があるのかを知ること、一緒に働きたいと思える力や身辺処理力が必要な力である

『余暇の過ごし方、ASDの方の卒後に向けての対応について』

- ・アンガーマネジメント(怒りのコントロール)をできるかが就労につながる

それぞれのグループでたくさんのお話が出て、講師の方々からは様々なアドバイスをいただき、充実したグループワークとなりました。



今回の研修会を通じて、小・中学部ではなかなか触れることができない高等部やその後のことについて、大変貴重なお話を聞くことができました。企業や高等部の方々のお話から、身だしなみや食事等の基本的な生活習慣や伝える力等の生活の基盤となる部分の育成が小・中学部では必要であるということを知ることができました。今回学んだことを受けて、長期的な視点ももちながら児童・生徒の教育活動にあたっていきたいと思います。リベラル株式会社の皆様、都立港特別支援学校の皆様、大変貴重なお話をいただきありがとうございました。